

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育実習指導Ⅲ	演習	1	林 幹士
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b>			
<p>保育実習Ⅲに参加するために必要な事項を学ぶ。</p> <p>保育実習Ⅲの意義、目的、内容を理解する。各自目標を持って発展的な実習ができるように準備する。実習事後指導を通して、実習の反省と課題の確認を行い、今後の学習目標を明確にする。</p>			
<b>【授業の概要】</b>			
<p>保育実習Ⅲが円滑に実施できるよう、理論と実践の両方の側面から準備を行う。各自の課題を確認しながら、講義と演習を通して、保育力の向上をめざす。授業内容に応じて、外部講師による指導を取り入れる。</p>			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. 保育実習ⅠAの振り返り			
2. 保育実習ⅠAにおける自己課題の確認			
3. 保育実習Ⅲの意義、目的、内容について			
4. 特別な支援を必要とする子どもとの関わりについて(外部講師)			
5. 特別な支援を必要とする成人との関わりについて(外部講師)			
6. 実習記録について			
7. 指導案作成(0・1・2歳児)			
8. 指導案作成(3・4・5歳児)			
9. 保育実践事例から			
10. 実習施設における事前指導について			
11. 保育士資格に関して			
12. 実習直前指導			
13. 事後指導(全体会)			
14. 保育実習Ⅲにおける自己課題の確認			
15. 就職にむけて(外部講師)			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: 部分実習のための教材研究を行う。			
学習のあり方: 指導案や実習で用いる教材を完成させること。			
復習のあり方: 課題を確認し、不足している部分に関しては重点的に練習・学習していく。			
<b>【成績評価】</b>			
提出物(100%)により評価する。			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
提出物や保育実習Ⅲの成績評価をもとに個別面談を実施し、実習についての振り返りを行う。			
<b>【テキスト】</b>			
岡本 幹彦他『福祉施設実習ハンドブック』みらい			
久富 陽子他『幼稚園・保育所実習 指導計画の考え方・立て方』萌文書林			
<b>【参考文献】</b>			
適宜お知らせする。			